I-O DATA

高精度ＧＰＳ　ＰＣカード

ＰＣＧＰＳ

取扱説明書

ダミー表紙

株式会社 アイ・オー・データ機器

42704-04

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各１部だけ複写できるものとします。
7) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
8) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
9) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
10) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is only suitable for use in Japan. We shall have no liability for any damages arising from the use or inability to use this product in other countries. We neither provide any technical support and/or after-service for the use of this product abroad.)
12) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に１台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
13) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
14) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

- I-O DATA は、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
- 「プロアトラス」は、株式会社アルプス社および株式会社アルプス出版社の登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

PCGPS 取扱説明書
2000.Aug.1 42704-04
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町三丁目10番地
© 1999-2000 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

ここにＶｅｒシールをお貼りください

Ｖｅｒシール

はじめに

このたびは、高精度 GPS PC カード『PCGPS』をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

⚠ 警告　安全のために

本製品を安全にお使いいただくために次のことを必ずお守りください。

●安全のための注意事項を守る

安全のために本書の「注意していただきたいこと」（6～8ページ）をよくお読みください。

●道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意を怠るなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因になる場合があります。

・運転者は走行中に本製品の操作はしない。

本書の見方

以下のフローに沿って、必要な箇所をお読みください。

取り付け前の準備を行います。必ずお読みください。
……第１章

↓

本製品を取り付けます。必ずお読みください。
……第２章

↓

添付の地図ソフトやユーティリティを起動して、現在位置を確認してみましょう。
……第３章

本書での呼び方

呼び方	意　味
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional
Windows CE	Microsoft® Windows® CE Operating System
Windows	Windows 98、Windows 95、Windows 2000、および Windows CE の総称

本書でのドライブ構成

本書では以下のような構成を想定して説明しています。構成の相違点を確認しながら読み進めてください。

《ドライブ構成》

A：フロッピーディスクドライブ 3.5 インチ（1.44MB/720KB）

C：ハードディスクドライブ

ご使用になる OS がインストール済みで起動可能であること。

D：CD-ROM ドライブ

1 ご使用になる前に

必ずお読みください

2
4
6
9

2 取り付ける

必ずお読みください

12
13
Windows 98 17
Windows 95 21
Windows 98/95 25
Windows 2000 27
Windows 2000 31
Windows 98/95 34
Windows 2000 36
Windows CE 39

3 GPS機能を使う

[zi:]　for PCGPS　42
PCGPS　47

4 付　録

58
71
72

73
74
75
76

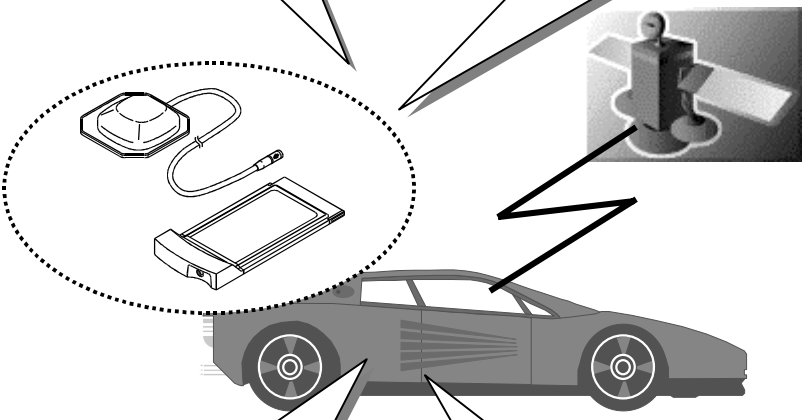
本製品のご紹介

GPS衛星対応

GPS衛星からの電波を受信して現在位置をキャッチ。
車では同乗者用ナビゲーションとしてお使いください。

専用地図ソフト添付

地図では定評のあるゼンリンの地図ソフト「ゼンリン電子地図帳Z[zi:]Ⅱ」に準拠した「ゼンリン電子地図帳Z[zi:]Ⅱ for PCGPS」を標準添付。買ったその日からカーナビゲーションを楽しむことができます。



モバイルに最適な設計

PCカードなので、ノートパソコンがすぐにカーナビに変身します。アンテナ部も小型軽量な上、防水で強力磁石付きなので取り付けが簡単。モバイル重視の設計です。

各種地図ソフトにも対応

ゼンリン電子地図帳Z[zi:]Ⅱ、Ⅲ MapFan V、プロアトラスシリーズ、Mapple Life PRO 98などの人気地図ソフトでもGPS機能を使用することができます。

1 ご使用になる前に

この章では、本製品をご使用になる上で必要となる事項を説明しますので、最初に必ずお読みください。

P2　箱を開けたら

箱の中に入っているものを確認してください。また、ユーザー登録の方法を説明してありますので、必ず、登録をお願いします。

P4　対応機種と動作環境および対応地図ソフト

対応機種や対応OSについて説明します。お取り付けになる前に、ご使用のパソコンがこれらの条件を満たしているか、確認してください。

P6　注意していただきたいこと

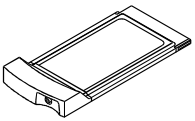
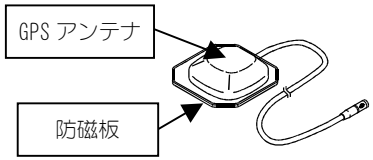
取り付け時や使用時に、してはいけないことなどを説明しています。必ずお読みになり、安全で快適にご使用ください。

P9　電波の受信と測定誤差について

現在位置を正しく測定するために、GPS アンテナを設置する前にお読みください。

箱を開けたら

中身を確認してください

内容物	詳細		個数
PC カード			1 枚
GPS アンテナ および 防磁板			1 個
サポートソフト	PCGPS サポートソフト　CD-ROM ディスク		1 枚
その他	取扱説明書（本書）		1 冊
	ゼンリン電子地図帳 Z[zi:]Ⅱ for PCGPS	CD-ROM ディスク	1 式
		セットアップガイド	1 枚
		クイックリファレンス	1 枚
	ゼンリン　ユーザー登録カード		1 枚
	ハードウェア保証書		1 枚
	ユーザー登録カード		1 枚
	Ver シール		1 枚
	ハードウェアシリアル No. シール		1 枚
	安全で快適にお使いいただくために		1 冊

万が一、不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

注意！

箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご使用ください。

ユーザー登録を行ってください

1 添付のVerシールを、ユーザー登録カード、本書の巻末の「Verシール」と書かれている部分に貼ってください。

2 添付のハードウェアシリアルNo. シールを、ユーザー登録カード、ハードウェア保証書に貼ってください。

3
- **（ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ http://www.iodata.co.jp/）**
  インターネットに接続できる環境をお持ちの場合はこちらでユーザー登録を行ってください。
  I-O DATA ホームページに「オンライン・ユーザー登録」ボタンが用意されています。このボタンをクリックするとオンライン登録の案内が表示されますので、画面の表示にしたがって必要事項を記入して、ユーザー登録を行ってください。
  オンライン・ユーザー登録後、お手元のユーザー登録カードには、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。
-
  ユーザー登録カードに、必要な事項をご記入のうえ、弊社まで必ずご返送ください。

注意！

1. **弊社では、サポートセンターでソフトウェアのバージョンアップサービスなどを行っておりますが、これらのサービスはユーザー登録を行った方のみが対象となっております。お買い上げいただいた製品ごとに必ず登録を行ってください。**
2. **ユーザー登録カードによる登録の場合、必要事項のご記入もれや必要なシールの貼り忘れがあった場合は、ユーザー登録できません。必ずご確認ください。**
3. **添付の「ゼンリン電子地図帳 Z[zi:]Ⅱ for PCGPS」に関するお問い合わせは、株式会社ゼンリンで行っております。お問い合わせ先については「ゼンリン電子地図帳 Z[zi:]Ⅱ for PCGPS」のゼンリン ユーザー登録カードをご参照ください。**

対応機種と動作環境および対応地図ソフト

本製品を使用できるパソコンおよび環境は以下の通りです。ご使用の機種や環境を再度ご確認ください。

対応機種	486DX 以上の CPU をもち、PC カード規格 TypeⅡスロットをもつ、以下の機種 ● NEC PC98-NX シリーズ ● DOS/V マシン （弊社では、OADG 加盟メーカーの DOS/V マシンで動作確認を行っています。） ● Windows CE 2.1 搭載機種(注1)
対応 OS	日本語 Windows 98(Second Edition を含む)、日本語 Windows 95、Windows CE 2.1(注1) 、日本語 Windows 2000 Professional(注2)
メモリ	16M バイト以上
CD-ROM	インストールのために必要。
その他	地図上で現在位置を表示するためには、本製品添付の「ゼンリン電子地図帳 Z[zi:]Ⅱ for PCGPS」など、GPS 対応の地図ソフトが必要。

※「ゼンリン電子地図帳 Z[zi:]Ⅱ for PCGPS」を実行するための追加条件

CPU	Pentium 以上
ハードディスク	空き容量 150M バイト以上
対応 OS	日本語 Windows 98、日本語 Windows 95（OSR2 以降） 日本語 Windows 2000 Professional(注2)

注 1）Windows CE 搭載機種では、本製品添付の「PCGPS サポートソフト」および「ゼンリン電子地図帳Z[zi:]Ⅱ for PCGPS」は動作しません。Windows CE の詳しい情報（対応地図ソフト、対応機種、動作環境など）については弊社ホームページをご覧下さい。

http://www.iodata.co.jp/products/promo/pcgps/

注 2）Windows 2000 Professional をご使用の際は Administrators もしくは Power User グループのメンバーとしてログオン後にインストールしてください。また、アプリケーション使用時もインストール時と同一ユーザー名でログオンしてください。

■本製品が対応している地図ソフト

本製品は以下の地図ソフトでもご使用いただけます。（2000 年 7 月現在）
（使用可能な地図ソフトの最新情報については、弊社ホームページもご覧ください。）
地図ソフトに関する詳細は各地図ソフトメーカーへお問い合わせください。

- ゼンリン電子地図帳 Z[zi:]Ⅲ（ゼンリン）
- ゼンリン電子地図帳 Z[zi:]Ⅱ（ゼンリン）※1
- DRIVER&TRAVEL PLANNER J-TRIP（ゼンリン）
- プロアトラスシリーズ（アルプス社）
- Mapple Life PRO 98（昭文社）
- MapFan Ⅴ（インクリメントP）
- MapFan CE2000（インクリメントP）※2

※1 下記【注意！】についてご確認ください。
※2 H/PC Pro Ver3.0(Windows CE2.11)のみ対応

注意！

商品版「ゼンリン電子地図帳 Z[zi:]Ⅱ」をご使用になる場合以下をご確認ください。

商品版ゼンリン電子地図帳 Z[zi:]Ⅱを使用する場合、インストールされているフォルダ内の

C:¥Program Files¥Zenrin¥EmapZ2¥bin¥EmzGPS.dll

を右クリックしプロパティでファイルバージョンをご確認ください。
ファイルバージョンが 2.1.1.1 以前のものにつきましてはファイルのアップデートが必要です。
アップデートにつきましては下記の株式会社ゼンリン ダウンロードコーナーをご確認ください。

http://www.zenrin.co.jp/products/Download/index.htm

上記作業を行ってもゼンリン電子地図帳 Z[zi:]Ⅱ forPCGPS で現在地が表示できない場合は、「PCGPS ユーティリティ」を起動し、『環境設定』→『GPS エンジンリセット』を実行してください。

注意していただきたいこと

本製品は非常に精密にできておりますので、お取り扱いに際しては、本製品に同梱されている小冊子「安全で快適にお使いいただくために」を必ずお読みください。ここでは、その小冊子の記載以外の注意点について説明します。

警告 以下の注意事項を守らないと事故などにより死亡や大けがの原因になります。

●

走行中に操作するとわき見運転になり、事故の原因となりますので、絶対におやめください。使用するときは安全な場所に車を止めてから行うか、助手席の搭乗者によるナビゲーションとして使用してください。また、歩きながらの使用も事故の原因になりますのでおやめください。

禁止

●

・運転の妨げになるところ
・同乗者に危険があると思われるところ
・不安定なところ
・灰皿の上
・熱くなるところ
・直射日光のあたるところ
・前方の視界を妨げるところ
・パソコンの画面がフロントガラスに映り込むようなところ（夜間）
・不安定なところ

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因になることがあります。

禁止

●

使用されるパソコンによっては火災や故障の原因になります。
その他の使用環境については、使用されるパソコンの取扱説明書に従ってください。

禁止

●

アンテナやケーブルの引き回しによっては、運転や移動の妨げになる場合があり、事故の原因となります。また、ドアを開けたり、車を乗り降りするときに、ケーブルにひっかからないようにご注意ください。

強制

●

車外に取り付けるときはボディの金属面に、車内やその他の場所に取り付けるときは両面テープなどを使って、しっかりと固定してください。
走行中にアンテナの位置を変えたり、アンテナを固定しようとしてハンドルから手を離したりすると事故の原因になります。
なお、アルミや FRP ボディの車などには磁石では取り付けられません。

強制

●

走行中にアンテナの位置を変えたり、取り付けるなどして窓から手を出すと、事故やけがの原因になることがあります。

禁止

⚠ 注意

以下の注意事項を守らないとけがなどにより損害を受けることがあります。

●

GPS 信号自体の測定誤差が出たり、パソコンのバッテリー不足などで現在位置が正確に確認できなくなり、事故やけがの原因になることがあります。本製品は、専門的な計測器としての使用を目的とした開発・製造はされていません。

禁止

● GPS

GPS アンテナの底面には強力な磁石が付いています。防磁板をつけていない GPS アンテナにクレジットカードなどを近づけると、カードが使用不能になる場合があります。

強制

その他の注意事項

- 本製品にはルート検索やルート案内（音声ガイド）等の機能はありません。
- 絶対最大定格を超えた電圧、電流、温度で使用または保管すると破壊する恐れがあります。
- 本製品は ACPI 機能やパソコンメーカー独自の省電力機能には対応しておりません。あらかじめ、それらの機能が動作しないように設定してから、ご使用ください。
- パソコン起動中に PC カードを取り外すときは決められた手順を守ってください。取り外し方は 34 ページ「パソコン起動中に取り外すには（Windows 98/95）」および 36 ページ「パソコン起動中に取り外すには（Windows 2000）」をご参照ください。
- 「ゼンリン電子地図帳 Z[zi:]Ⅱ for PCGPS」のインストール方法および操作については本書では説明しておりません。添付のオンラインマニュアルをご参照ください。
- 1.5GHz 帯を利用している携帯電話などをアンテナの近くで使用すると GPS 衛星よりの電波を受信しにくくなる場合があります。
- PCGPS ユーティリティと「ゼンリン電子地図帳 Z[zi:]Ⅱ for PCGPS」などの地図ソフトは同時に起動しておくことはできますが、GPS 機能が使えるのはいずれか一方のみとなります。（いずれか一方で GPS 機能を停止しておかなくてはなりません。）

電波の受信と測定誤差について

GPS 信号の受信について

GPS 信号は以下のところでは受信できない場合があります。GPS アンテナをこれらの場所に設置したり、移動した場合は、現在位置が測定できなかったり、実際の位置との不一致が生じたりします。

- ●トンネルの中や地下
- ●ビルの駐車場
- ●屋内
- ●高層ビルの間
- ●高架橋の下
- ●密集した樹木の間
- ●ルーフキャリアなどが GPS アンテナの上にあるとき
- ●GPS アンテナに雪が積もったとき

GPS 衛星自体による測定誤差について

本製品は3個以上の GPS 衛星からの電波を受信すると、自動的に現在位置を測定します。ただし、場合によっては数百メートルの誤差が生じることがあります。
また、GPS 衛星は米国国防総省によって管理されていますので、意図的に測定精度が変更され、誤差が大きくなることもあります。

2 取り付ける

この章では、本製品をパソコンに取り付けたり、取り外したりする作業について説明します。本書の図を見ながら、順番に作業を行ってください。

P12　取り付け前のチェック
取り付ける前に確認していただきたい事項をまとめてあります。

P13　取り付ける
GPS アンテナを取り付けます。設置の注意点などをよくご理解ください。

P17　Windows 98 へインストールする
Windows 98 をご使用の場合は、このページをご参照ください。

P21　Windows 95 へインストールする
Windows 95 をご使用の場合は、このページをご参照ください。

P25　インストール終了後の確認(Windows 98/95)
正しく取り付けたかどうか、PC カードをパソコンが認識しているかどうかを確認します。Windows 98/95 共通です。

P27　Windows 2000 へインストールする
Windows 2000 をご使用の場合は、このページをご参照ください。

P31　インストール終了後の確認(Windows 2000)
正しく取り付けたかどうか、PC カードをパソコンが認識しているかどうかを確認します。Windows 2000 の場合です。

P34　パソコン起動中に取り外すには(Windows 98/95)
パソコン起動中に PC カードを取り外すには決められた手順があります。取り外す場合は必ずその手順をお守りください。Windows 98/95 共通です。

P36　パソコン起動中に取り外すには(Windows 2000)
パソコン起動中に PC カードを取り外すには決められた手順があります。取り外す場合は必ずその手順をお守りください。Windows 2000 の場合です。

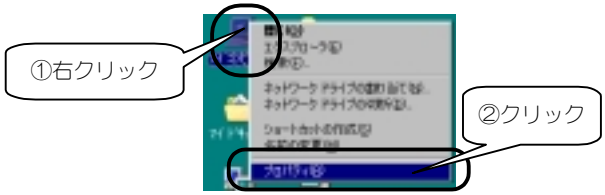
P39　Windows CE で使う
Windows CE をご使用の場合は、このページをご参照ください。

取り付け前のチェック

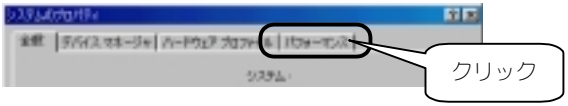
※ Windows 2000 でご使用になる場合は、この作業は必要ありません。次ページへお進みください。

32 ビットの PC カードドライバがインストールされていますか？

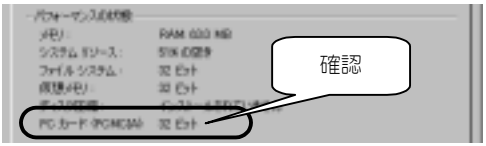
1 『ﾏｲｺﾝﾋﾟｭｰﾀ』を右クリックして、[プロパティ]をクリックします。



2 [パフォーマンス]タブをクリックします。



3 PC カード(PCMCIA)欄に [32 ビット]と表示されていることを確認します。
表示されていれば、[OK]ボタンをクリックして画面を閉じます。

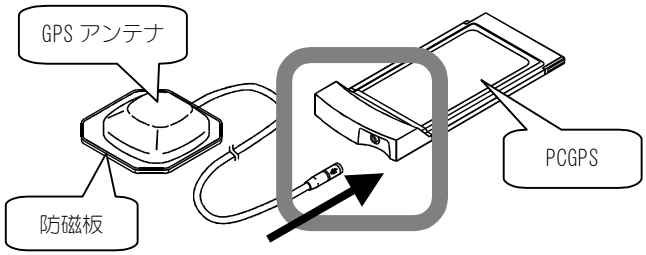


注意！

「32 ビット」になっていない場合は、[キャンセル]ボタンを押して、処理を終了します。その後、『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』の中の「PC カード(PCMCIA)」アイコンをダブルクリックします。PC カードウィザードが起動するので、画面の指示にしたがってインストールしてください。詳細についてはパソコン本体メーカにお問い合わせください。

取り付ける

PC カードと GPS アンテナを接続する



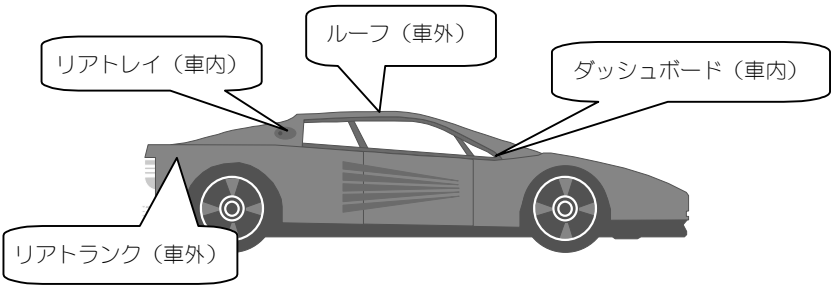
接続のヒント

GPS アンテナのプラグを PC カードのアンテナ端子に接続します。

- プラグは確実に接続してください。
- プラグを抜くときは GPS アンテナのコードを引っ張らず、プラグを持って抜いてください。コードが故障する原因となります。

GPS アンテナを取り付ける

下記の場所に取り付けてください。



接続のヒント

- 車外に取り付けるときは
  防磁板をスライドさせるようにして、GPS アンテナから取り外してから取り付けます（GPS アンテナの底面は強力な磁石になっているので、確実に取り付けられます）。このときアンテナから車内へ水が入らないようにしてください。
- 車内に取り付けるときは
  GPS 衛星からの電波を遮るものがない場所で、GPS アンテナが水平になるような場所を選び、両面テープなどで GPS アンテナをしっかりと固定してください。
- GPS アンテナのコードをたるませないようにまとめます。（シフトレバーやハンドルに引っかからないように注意してください。）
- アルミや FRP ボディには磁石では取り付けられないので、車内に取り付けてください。
- ルーフキャリアなどの傍に取り付けると、受信できない場合があります。
- 一部のウィンドウガラスには GPS 衛星の電波を通さないものがあります。車内に取り付けて受信が不安定な場合は車外に取り付けることをおすすめします。

注意！

1. **GPS アンテナのコードは、運転の妨げにならないように設置してください。また、車内外でコードをたるませないようにしてください。シフトレバーやハンドルに絡まると危険です。**
2. **車外に設置した場合、窓やドアの開閉時および乗り降りの際、コードを引っ掛けたりしないようにご注意ください。**
3. **自動車などに、取り付け・取り外しする場合は、車体に傷をつけないようにご注意ください。**
4. **洗車の場合は忘れずに GPS アンテナを取り外してください。**
5. **GPS アンテナを携帯するときの注意事項**
   GPS アンテナの底面には強力な磁石が入っています。防磁板を取り外した GPS アンテナにクレジットカードなどを近づけると、クレジットカードが使用不可能になってしまう場合があります。携帯するときは必ず防磁板をアンテナに取り付けてください。
6. **取り外した防磁板はなくさないように保管してください。**

PC カードをパソコンに挿入する前に

次の条件のパソコンをご使用の場合は、サポートソフトディスクの内容を、ハードディスクにコピーする必要があります。

『PC カードスロットが 1 つのみで、
CD-ROM ドライブを PC カード経由で使用する場合』

この場合は、以下の手順にしたがってサポートソフトディスクの内容をハードディスクにコピーしてください。PC カードスロットが 2 つ以上ある場合や内蔵の CD-ROM ドライブがある場合は読み飛ばして次ページへお進みください。

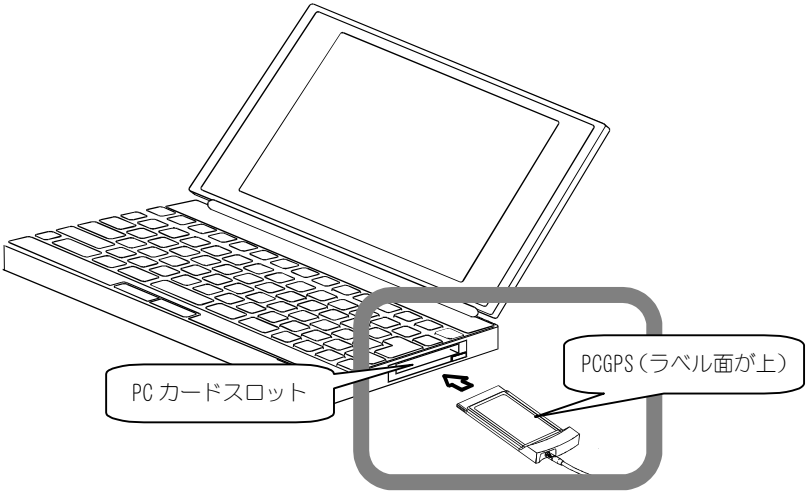
① ハードディスクに任意のフォルダを作成します。
　例）エクスプローラで C ドライブ（ハードディスクドライブが C ドライブの場合）を選択し、『ファイル』→『新規作成』から『フォルダ』をクリックし、適当な名前をつけます。
② PC カード経由の CD-ROM ドライブにサポートソフトディスクをセットします。
③ CD-ROM ドライブの内容をすべてコピーします
　例）エクスプローラで D ドライブ（CD-ROM ドライブが D ドライブの場合）を選択し、『編集』→『すべて選択』をクリックします。その後、『編集』→『コピー』をクリックします。
④ ①で作成したフォルダを開き、③でコピーした内容を貼り付けます。
　例）エクスプローラで C ドライブの①で作成したフォルダを選択し、『編集』→『貼り付け』をクリックします。

以上で、コピーは終了です。CD-ROM 経由の PC カードを取り外してください。

以後の記述で CD-ROM を選択する箇所では、①で作成したフォルダを指定してください。また、CD-ROM をセットするように記述している箇所は読み飛ばしてください。

PC カードをパソコンに挿入する

パソコンの電源を入れ、Windows を起動した状態で行います。



接続のヒント

カードのラベル面を上にして、パソコンの PC カードスロットに最後までしっかりと挿入します。挿入されると、ピポッと音がします。

- パソコンの PC カードスロットの位置は、パソコンの取扱説明書をご参照ください。

PC カードをパソコンに挿入すると、PCGPS が新しいハードウェアとして認識され、インストールが始まります。ご使用の環境により、下記のページをご参照ください。

- Windows 98 をご使用の場合
  「Windows 98 へインストールする」次ページへお進みください。
- Windows 95 をご使用の場合
  「Windows 95 へインストールする」21 ページへお進みください。
- Windows 2000 をご使用の場合
  「Windows 2000 へインストールする」27 ページへお進みください。

「インストール終了後の確認」は、Windows 98/95 の場合は 25 ページへお進みください。Windows 2000 の場合は 31 ページへお進みください。

Windows 98 へインストールする

1

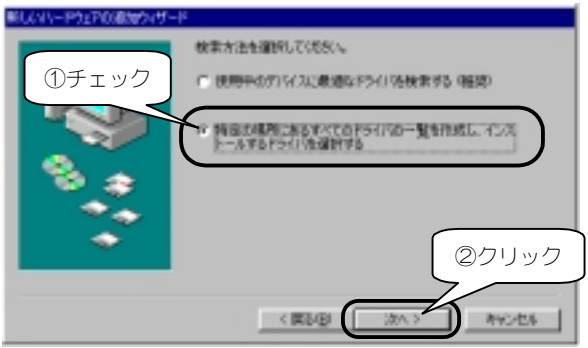
PC カードを挿入すると、しばらくして、下記の画面が表示されるので、[次へ]をクリックします。

…

「困ったときには」60 ページをご参照ください。

2

[特定の場所にあるすべてのドライバ. . .]を選択し、[次へ]をクリックします。

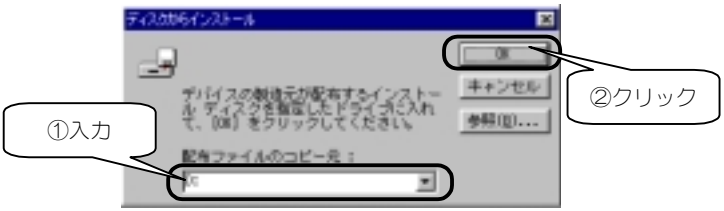


3 [ポート(COM/LPT)]をクリックし、[次へ]をクリックします。

4 サポートソフトディスクを、CD-ROMドライブにセットし、[ディスク使用]をクリックします。

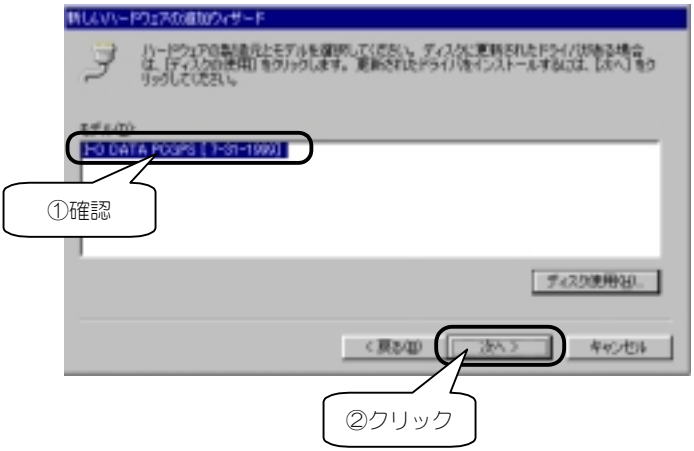
5 CD-ROMドライブを指定し、[OK]をクリックします。

CD-ROM ドライブが D ドライブの場合は、[D:]と指定します（下図の例）。



6

[I-O DATA PCGPS]と表示されることを確認して、[次へ]をクリックします。



7

[I-O DATA PCGPS]と表示されることを確認して、[次へ]をクリックします。

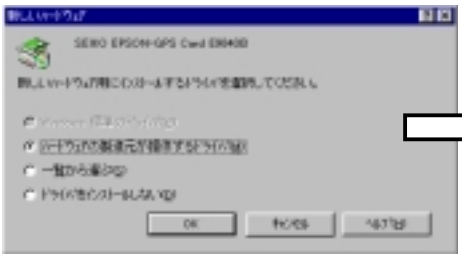
8 ピポッと音がして下記の画面が表示されたら、[完了]をクリックします。

以上でインストールは終了です。PC カードが認識され、画面右下のタスクトレイに[PC カード]アイコンが表示されます。

今後は PC カードを差すだけで使えるようになります（PC カードを差すとピポッと音がします）。
次は、25 ページ「インストール終了後の確認（Windows 98/95）」へお進みください。

Windows 95 へインストールする

Windows 95 では、PC カードを差し込んで最初に表示される画面によって、インストール手順が異なります。
表示される画面をご確認の上、必要なページをご参照ください。



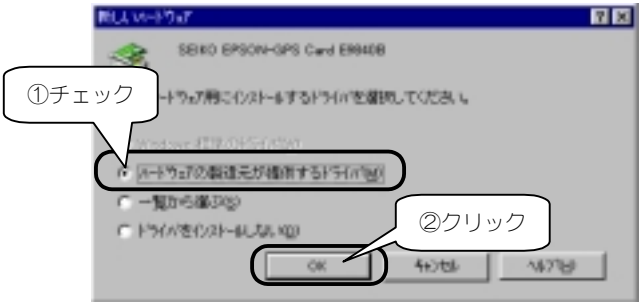
「Windows 95 へのインストール ーその１ー」22 ページ～ をご参照ください。

「Windows 95 へのインストール ーその２ー」23 ページ～ をご参照ください。

「困ったときには」60 ページ をご参照ください。

Windows 95 へのインストール　ーその 1ー

1 PC カードを挿入すると、しばらくして、下記の画面が表示されます。
[ハードウェアの製造元が…]を選び、[OK]をクリックします。



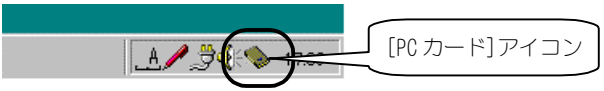
…

「困ったときには」60 ページをご参照ください。

2 サポートソフトディスクを、CD-ROM ドライブにセットします。

3 CD-ROM ドライブを指定し、[OK]をクリックします。
CD-ROM ドライブが D ドライブの場合は、[D:]と指定します（下図の例）。

以上でインストールは終了です。PC カードが認識され、画面右下のタスクトレイに[PC カード]アイコンが表示されます。



今後は PC カードを差すだけで使えるようになります（PC カードを差すとピポッと音がします）。
次は、25 ページ「インストール終了後の確認（Windows 98/95）」へお進みください。

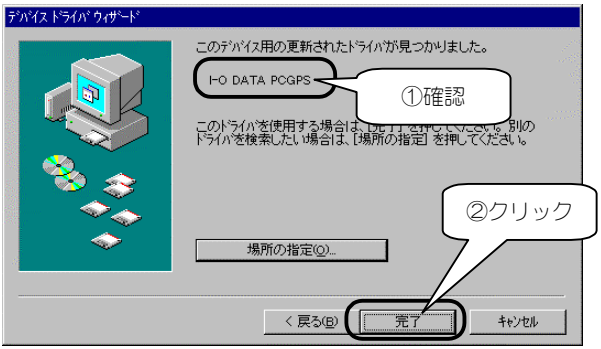
Windows 95 へのインストール　ーその2ー

1 PC カードを挿入すると、しばらくして、下記の画面が表示されます。サポートソフトディスクを、CD-ROM ドライブにセットし、[次へ]をクリックします。

…

「困ったときには」60 ページをご参照ください。

2 [I-O DATA PCGPS]と表示されることを確認して、[完了]をクリックします。



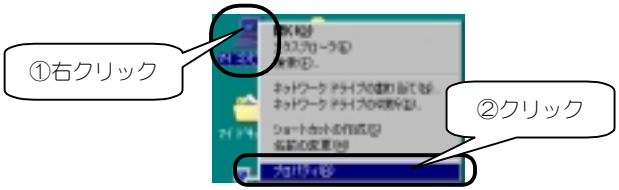
以上でインストールは終了です。PC カードが認識され、画面右下のタスクトレイに[PC カード]アイコンが表示されます。

今後は PC カードを差すだけで使えるようになります（PC カードを差すとピポッと音がします）。
次は、次ページ「インストール終了後の確認（Windows 98/95）」へお進みください。

インストール終了後の確認（Windows 98/95）

PC カードをパソコンに挿入したら、パソコンが PCGPS を正しく認識したかどうか、および、認識した COM ポート番号を確認します。この操作は Windows 98/95 共通です。

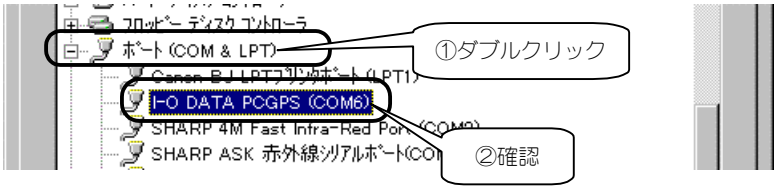
1 『ﾏｲｺﾝﾋﾟｭｰﾀ』を右クリックして、「プロパティ」を選びます。



2 [デバイスマネージャ]タブをクリックします。

3 「ポート」をダブルクリックして、「I-O DATA PCGPS」が表示されていることを確認します。

COM の後の数字はお使いの環境により異なります。



I-O DATA PCGPS
…

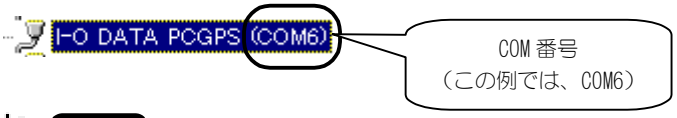
「困ったときには」61 ページをご参照ください。

I-O DATA PCGPS
…

「困ったときには」62 ページをご参照ください。

4 COM の後の数字をメモしておきます。

下図の例では COM 番号は「6」です。この番号は後で GPS 機能を使って現在位置を測定するときに必要になります。



注意！

ここで表示される COM 番号は、他のハードウェア（モデムやプリンタなどポートを使用するもの）をインストールすると変わってしまう場合があります。
他のハードウェアをインストールした場合は、もう一度この手順を行うか、画面右下のタスクトレイに表示されている[PC カード]アイコンをクリックして、COM 番号を確認してください。COM 番号が変わったときは、ナビゲーションソフトの GPS 設定も変える必要があります（44 ページ参照）。

5 [OK]をクリックして、デバイスマネージャ画面を終了します。

これで PC カードが正常に認識されていることが確認できました。
実際に GPS 機能を使ってみる前に、34 ページ「パソコン起動中に取り外すには（Windows 98/95）」をお読みになり、PC カードの正しい取り外し方をマスターしてください。

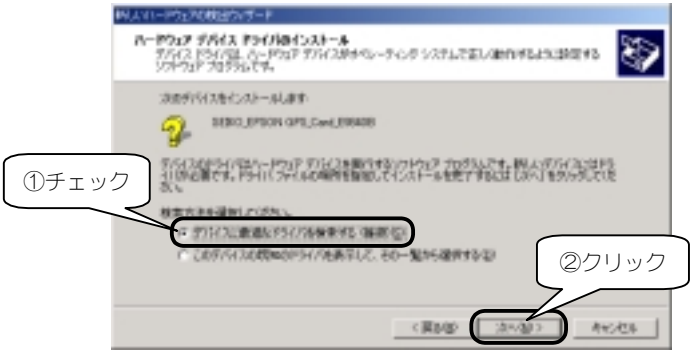
Windows 2000 へインストールする

※ Windows 2000 上でデバイスドライバおよび PCGPS ユーティリティのインストールを行う場合は、Administrators グループのメンバとしてログオンしてください。

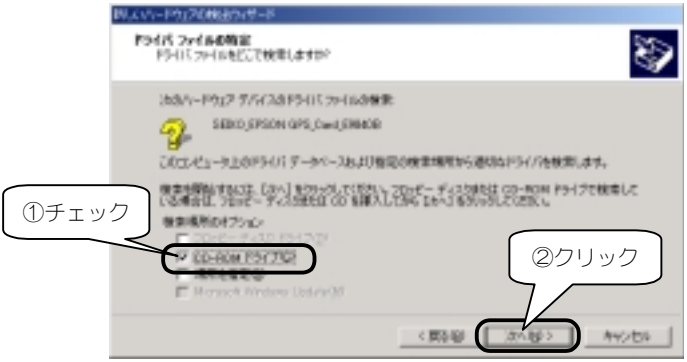
1 PC カードを挿入すると、しばらくして下記の画面が表示されます。サポートソフトディスクを、CD-ROM ドライブにセットし、[次へ]をクリックします。

「困ったときには」60 ページをご参照ください。

2 [デバイスに最適なドライバを検索する]をチェックし、[次へ]をクリックします。



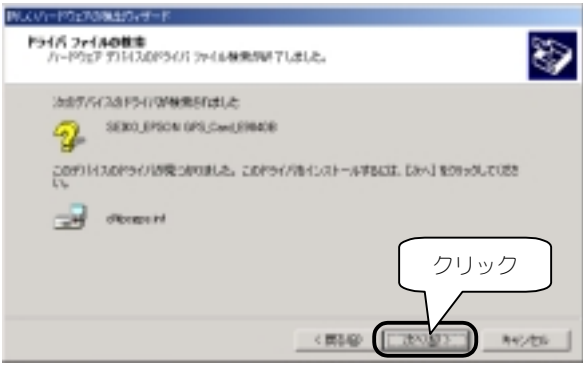
3 [CD-ROMドライブ]をチェックし、[次へ]をクリックします。



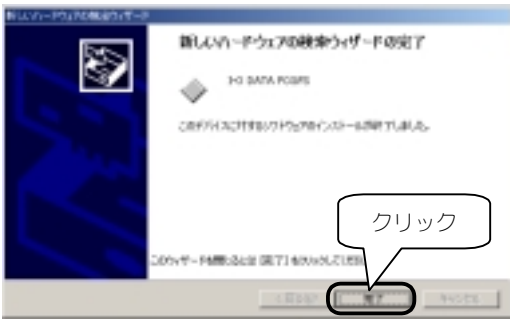
4 下記の画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。

（下記は CD-ROM ドライブが D ドライブの場合の例です。）

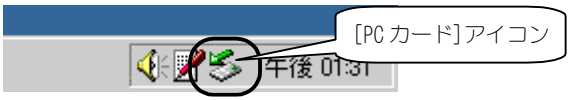
5 下記の画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。



6 [I-O DATA PCGPS]と表示されることを確認して、[完了]をクリックします。



以上でインストールは終了です。PC カードが認識され、画面右下のタスクトレイに[PC カード]アイコンが表示されます。

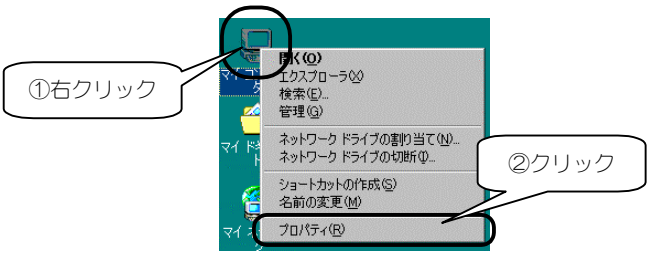


今後は PC カードを差すだけで使えるようになります（PC カードを差すとピポッと音がします）。
次は次ページ「インストール終了後の確認（Windows 2000）」へお進みください。

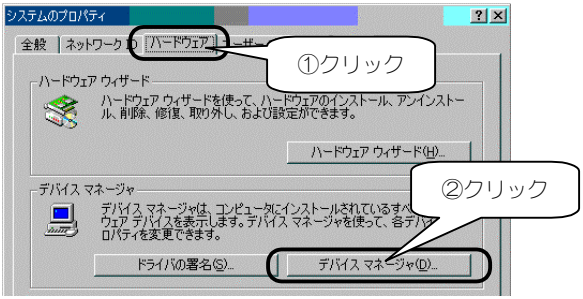
インストール終了後の確認（Windows 2000）

PC カードをパソコンに挿入したら、パソコンが PCGPS を正しく認識したかどうか、および、認識した COM ポート番号を確認します。この操作は Windows 2000 用です。

1 『マイコンピュータ』を右クリックして、「プロパティ」をクリックします。

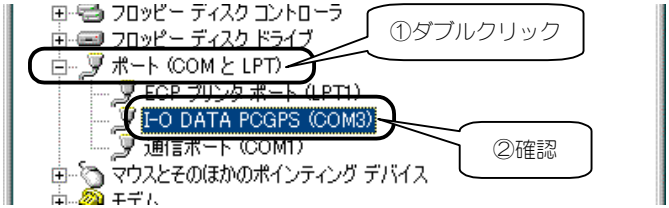


2 [ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]をクリックします。



3 「ポート」をダブルクリックして、「I-O DATA PCGPS」が表示されていることを確認します。

COM の後の数字はお使いの環境により異なります。



I-O DATA PCGPS
…

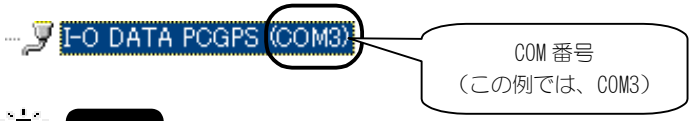
「困ったときには」61 ページをご参照ください。

I-O DATA PCGPS
…

「困ったときには」62 ページをご参照ください。

4 COM の後の数字をメモしておきます。

下図の例では COM 番号は「3」です。この番号は後で GPS 機能を使って現在位置を測定するときに必要になります。



注意！

ここで表示される COM 番号は、他のハードウェア（モデムやプリンタなどポートを使用するもの）をインストールすると変わってしまう場合があります。
他のハードウェアをインストールした場合は、もう一度この手順を行うか、画面右下のタスクトレイに表示されている[PC カード]アイコンをクリックして、COM 番号を確認してください。COM 番号が変わったときは、ナビゲーションソフトの GPS 設定も変える必要があります（44 ページ参照）。

5 デバイスマネージャ画面を終了します。

これで PC カードが正常に認識されていることが確認できました。
実際に GPS 機能を使ってみる前に、36 ページの「パソコン起動中に取り外すには（Windows 2000）」をお読みになり、PC カードの正しい取り外し方をマスターしてください。

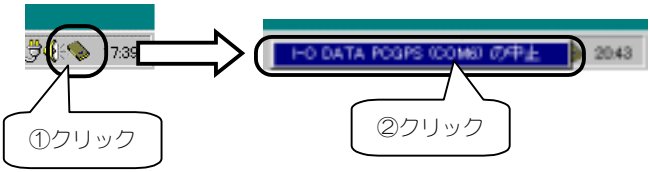
パソコン起動中に取り外すには (Windows 98/95)

パソコンを起動中に、PC カードを取り外すには決められた手順で行う必要があります。以下の手順は Windows 98/95 共通です。

注意！

1. **正しい手順を行わずにPCカードをスロットから取り外すと、予期しない障害が発生する場合があります。**
2. **PC カードを抜かないで、ケーブルだけを取り外すことは絶対に止めてください。**
3. **下記の取り外し操作を行うと、実際にスロットから PC カードを抜かなくても PC カードの動作は終了したとみなされ、PCGPS は使えなくなります。再度、使用したい場合はいったんカードを抜いた後、もう一度、差し込んでください。**
4. **PC カードを取り外す前に、PCGPS を使用していないことを確認してください。**
5. **PCGPS ユーティリティやゼンリン電子地図帳 Z[zi:] Ⅱなど、複数のアプリケーションで PCGPSを同時に動作させた場合、以下の手順を行っても取り外しできなくなる場合があります。この場合は、パソコンの電源をいったん切ってから取り外してください。**

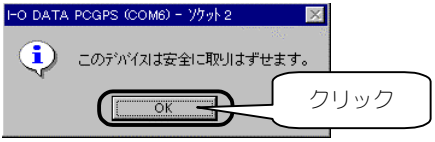
1 画面右下のタスクトレイに表示されている[PC カード]アイコンをクリックし、[I-O DATA PCGPS(COM..)の中止]をクリックします。



参考

[PC カード]アイコンをダブルクリックする方法もあります。下記右側の画面が表示されたら、[I-O DATA PCGPS]を選択後、[停止](Windows 98 の場合)、または[終了](Windows 95 の場合)を押してください。

2 しばらくして下記の画面が表示されたら、[OK]をクリックします。



3 PC カード取り出しボタンを押すと、PC カードが少し飛び出すので、PC カードをスロットから抜きます。

PC カード取り出しボタンの位置はパソコンの取扱説明書をご参照ください。
取り出しボタンを押すと、ピポッと音がします。

PC カードの取り付け、取り外しをマスターしたら、いよいよ GPS 機能を使って、現在位置を測定してみましょう。
41 ページ「3 GPS 機能を使う」へ進んでください。

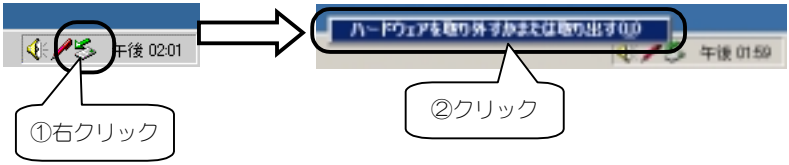
パソコン起動中に取り外すには（Windows 2000）

パソコンを起動中に、PC カードを取り外すには決められた手順で行う必要があります。この操作は Windows 2000 用です。

注意！

1. **正しい手順を行わずにPCカードをスロットから取り外すと、予期しない障害が発生する場合があります。**
2. **PC カードを抜かないで、ケーブルだけを取り外すことは絶対に止めてください。**
3. **下記の取り外し操作を行うと、実際にスロットから PC カードを抜かなくても PC カードの動作は終了したとみなされ、PCGPS は使えなくなります。再度、使用したい場合はいったんカードを抜いた後、もう一度、差し込んでください。**
4. **PC カードを取り外す前に、PCGPS を使用していないことを確認してください。**
5. **PCGPS ユーティリティやゼンリン電子地図帳 Z[zi:] Ⅱなど、複数のアプリケーションで PCGPS を同時に動作させた場合、以下の手順を行っても取り外しできなくなる場合があります。この場合は、パソコンの電源をいったん切ってから取り外してください。**

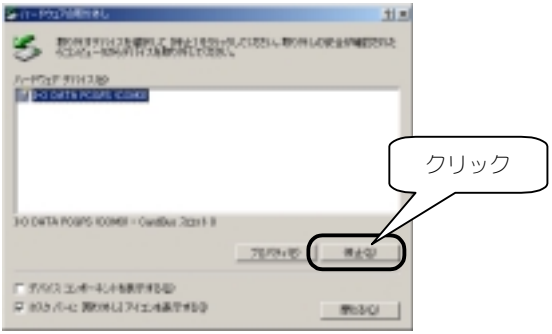
1 画面右下のタスクトレイに表示されている[PC カード]アイコンを右クリックし、[ハードウエアを取り外すかまたは取り出す]をクリックします。



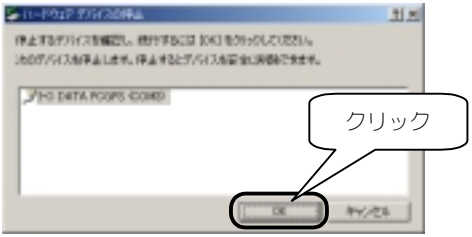
参考

[PC カード]アイコンをダブルクリックする方法もあります。この場合はダブルクリック後すぐに手順 2 の画面になります・

2 下記の画面が表示されたら、[停止]をクリックします。



3 [OK]をクリックします。



4 [OK]をクリックします。

5 PC カード取り出しボタンを押すと、PC カードが少し飛び出すので、PC カードをスロットから抜きます。

PC カード取り出しボタンの位置はパソコンの取扱説明書をご参照ください。
取り出しボタンを押すと、ピポッと音がします。

PC カードの取り付け、取り外しをマスターしたら、いよいよ GPS 機能を使って、現在位置を測定してみましょう。
41 ページ「3 GPS 機能を使う」へ進んでください。

Windows CE で使う

本製品を Windows CE でご使用になる場合は、まず弊社ホームページ

http://www.iodata.co.jp/products/pccard/pcgps/ce.htm

で、お手元の Windows CE パソコンが対応機種であるかどうかをご確認ください。
対応機種の場合、下記のものをインストールすればご使用いただけます。

・Windows CE 対応地図ソフト
・Windows CE 用リセットユーティリティ

Windows CE 対応地図ソフトをインストールする前に

・Windows CE 対応地図ソフトをインストールする前に、ご使用のパソコンに付属の「Microsoft Windows CE サービス」をインストールし、ご使用のパソコンと、Windows CE 機の間でデータ転送が正しく行える状態にあるか、確認してください。

・弊社ホームページで、対応地図ソフトであるかどうかをご確認ください。また、本製品でご使用になる上での注意事項も確認し、地図ソフトに付属の取扱説明書をよくお読みの上、正しくお取扱ください。

Windows CE 用リセットユーティリティのインストール

この作業をはじめる前に、ご使用のパソコンの CPU を確認してください。
「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「システム」を起動し、「デバイス」の中の「プロセッサの種類」で確認できます。

1 「サポートソフトディスク」内の WinCE フォルダの.cab ファイルのうち、ご使用のパソコンの CPU に合ったものを、パソコンに転送します。

ご使用のパソコンの CPU に合ったファイル（下記参照）を転送してください。
転送先のフォルダはどこでも結構です。
ファイルの転送方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

MIPS 用・・・resetgps.mips.cab
SH-3 用・・・resetgps.sh3.cab
SH-4 用・・・resetgps.sh4.cab

2 転送したファイルをダブルクリックします。

3 後は表示されるメッセージに従って進めてください。

MapFan CE 2000 用 GPS プラグインについて

Windows CE 向け地図ビューワー「Map Fan CE 2000」用 GPS プラグインをご使用になる場合は、以下の点についてご注意ください。

- MapFan CE 用 GPS プラグインで必要なプラグインは、NMEA 汎用 GPS プラグインです。
- MapFan CE 用 GPS プラグインの［設定］→［デバイス］→［COM ポート］の COM の設定を COM2 以上でお試しください。設定値はご使用の環境によって異なります。
- MapFan CE 用 GPS プラグインの［設定］→［デバイス］→［WGS84→TOKYO 変換］はチェックしないでください。
- MapFan CE 用 GPS プラグインの［設定］→［デバイス］→［ポートオープン前 3Sec Wait］をチェックしてください。
- PCGPS はサスペンドには対応していません。
  Windows CE 機ではある程度の時間、操作を行わないと、サスペンドモードになります。PCGPS はサスペンドモードに対応しておりませんので、MapFan CE 用 GPS プラグインを使用して測位を行っているときに、サスペンドモードになった場合は GPS プラグインの停止ボタンを押し、再度開始ボタンを押してください。

3 GPS機能を使う

この章では、本製品と本製品添付の「ゼンリン電子地図帳 Z[zi:]Ⅱ for PCGPS」を使って、パソコンの地図上に現在位置を表示させたり、PCGPS ユーティリティを使って GPS 信号を受信する方法について説明します。

P42　ゼンリン電子地図帳 Z[zi:]Ⅱ for PCGPS を使う

本製品添付の「ゼンリン電子地図帳 Z[zi:]Ⅱ for PCGPS」を起動し、GPS 機能を使って、現在位置を地図上で確認する方法を説明します。

P47　PCGPS ユーティリティを使う

PCGPS ユーティリティを使って、GPS 衛星の電波を受信し、現在位置を確認（数字表記のみ）する方法を説明します。

ゼンリン電子地図帳 Z[zi:] for PCGPS を使う

ここでは本製品添付の「ゼンリン電子地図帳 Z[zi:]Ⅱ for PCGPS」を使って、現在位置を地図上に表示する方法を説明します。

注意！

1. **運転しながら現在位置を確認したり、ゼンリン電子地図帳 Z[zi:]Ⅱ for PCGPS を操作したりすることは絶対にお止めください。事故の原因になり、大変危険です。**
   ゼンリン電子地図帳 Z[zi:]Ⅱ for PCGPS は同乗者によるナビゲーションとしてお使いください。
2. **ゼンリン電子地図帳 Z[zi:]Ⅱ for PCGPS のGPS機能以外の操作は、添付の CD-ROM に入っているオンラインマニュアルをご参照ください（添付のインストールマニュアルにオンラインマニュアルの使い方が記載されています。）**
3. **Windows 2000 上でインストールを行う場合は、Administrators もしくは Power Users グループのメンバとしてログオンしてください。また、アプリケーション使用時もインストール時と同一ユーザーでログオンしてください。**

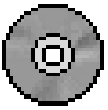
ゼンリン電子地図帳 Z[zi:]Ⅱのインストール

ゼンリン電子地図帳 Z[zi:]Ⅱ for PCGPS の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると、インストーラが自動的に起動します。画面の指示にしたがって、インストールを進めてください。詳しいインストール方法は添付の「ゼンリン電子地図帳 Z[zi:]Ⅱ for PCGPS」のセットアップガイドをご参照ください。

現在位置を地図上で表示する

PCGPS が正しくインストールされていることが前提です。
PCGPS を PC カードスロットにセットし、13 ページ「GPS アンテナを取り付ける」を参照して、正しい位置に GPS アンテナを設置してください。

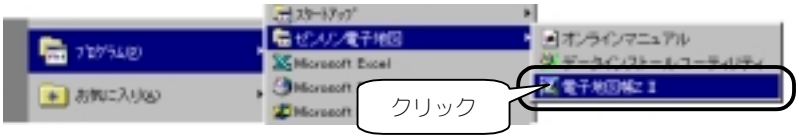
1 「ゼンリン電子地図帳 Z[zi:]Ⅱ for PCGPS」の CD-ROM ディスクを CD-ROM ドライブにセットします。



データインストールユーティリティで地図データをインストールすれば、CD-ROM は必要ありません。
（方法については操作マニュアル（PDF）をご覧ください。）

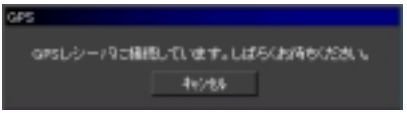
2 ゼンリン電子地図帳 Z[zi:]Ⅱ for PCGPS を起動します。

『ｽﾀｰﾄ』→『ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ』→『ゼンリン電子地図』→「ゼンリン電子地図帳 ZⅡ」をクリックします。

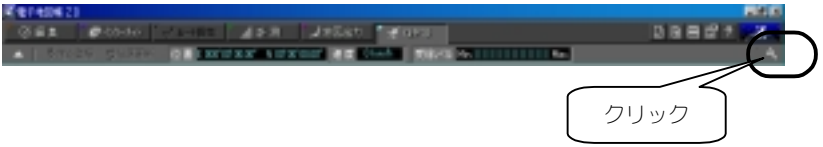


3 ゼンリン電子地図帳 Z[zi:]Ⅱ for PCGPS の画面が表示されたら、[GPS]をクリックします。

4 下記の画面が表示されるので、しばらく待ちます。

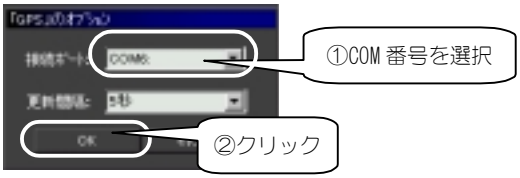


5 [設定]アイコンをクリックします。



6 接続ポートを選び、[OK]をクリックします。

接続ポートは 26 ページの 4 で確認した COM 番号です。（Windows 2000 の場合は 32 ページの 4 ）

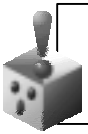


参考

1. 更新間隔とは、現在位置を再測定して表示するまでの間隔です。移動速度などに応じて、必要な間隔を選んでください。
2. 最初に接続ポートを指定すると、PCGPS の COM 番号が変わらない限り、今後は設定する必要はありません。[GPS]をクリックするだけで受信を開始します。

7 しばらくして測位できたら、自動的に現在位置の地図になり、現在位置のマークが表示されます。

最初の測位には数分かかる場合もあります。しばらくお待ちください。



…

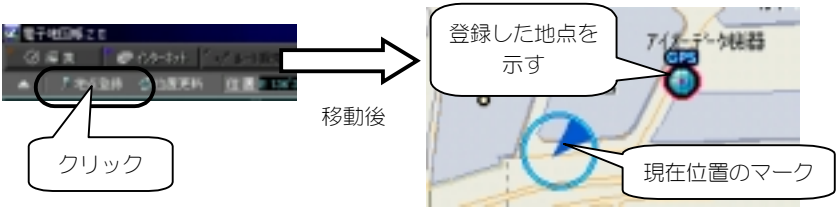
「困ったときには」65 ページをご参照ください。

注意！

1. **現在位置を表示しているときは、その他の地域の地図は表示できません。[GPS]をクリックし、GPS受信を終了してから、地図を表示してください。**
2. **GPS衛星自体の測定誤差があるので、現在位置マークは、実際の位置とずれる場合があります。**

8 [地点登録]をクリックすると、現在地が登録できます。

[位置更新]をクリックすると現在位置を再測位します。（特に[位置更新]をクリックしなくても更新間隔に合わせて自動測位します）。



9 GPS受信を終了したいときは、もう一度、[GPS]をクリックします。

ゼンリン電子地図帳 Z[zi:]Ⅱ for PCGPS 自体を終了したいときは、画面右上の[×]をクリックしてください。

移動すると移動速度も表示されます。添付のゼンリン電子地図帳 Z[zi:]Ⅱ for PCGPS ではレストランなどを検索したり、電話番号で所在地を検索する機能もあります。使い方は添付のオンラインマニュアルをご参照ください。
また、製品版のゼンリン電子地図帳 Z[zi:]Ⅱ、Ⅲでは、目的地へのルート（道順）を表示する機能もあります。必要に応じてお買い求めください。

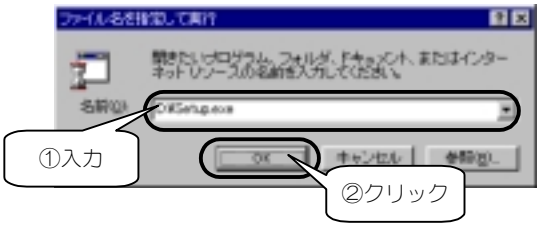
PCGPSユーティリティを使う

サポートソフトディスクには GPS 信号を受信し、現在位置や GPS 衛星の状態を確認できる PCGPS ユーティリティが入っています。ここでは PCGPS ユーティリティを使って、リアルタイムに現在位置を確認してみましょう。（現在位置は緯度・経度での表記です。地図上に表示することはできません）。

PCGPS ユーティリティのインストール

1 サポートソフトディスクを CD-ROM ドライブにセットし、『ｽﾀｰﾄ』→『ﾌｧｲﾙ名を指定して実行』で「SETUP.EXE」を指定し、[OK]をクリックします。

（CD-ROM ドライブが D ドライブの場合）



2 画面の指示にしたがい、インストールを進めてください。

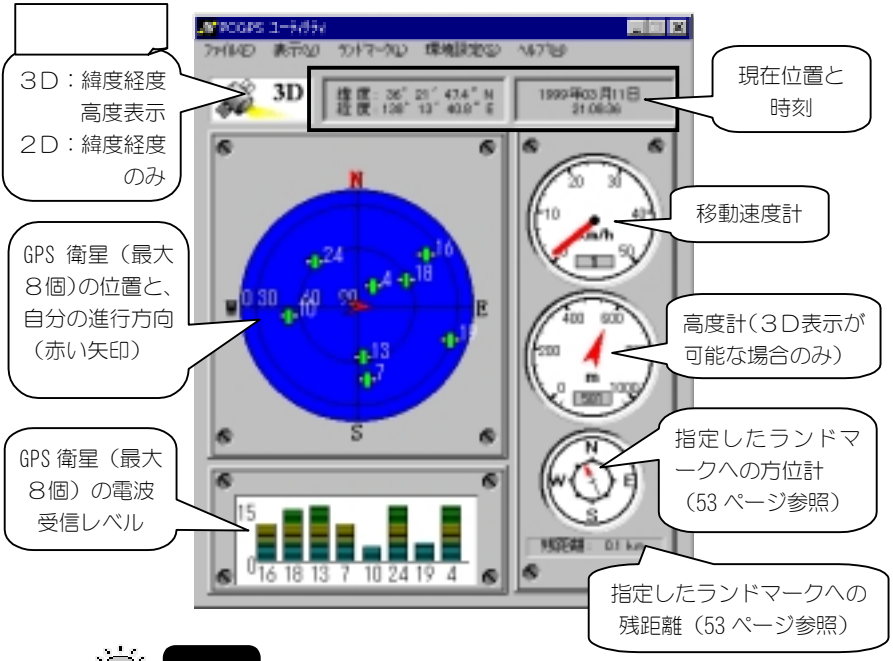
PCGPSユーティリティを使おう

PCGPS ユーティリティを使って、現在位置や衛星の状況を測定してみましょう。
PC カードをパソコンにセットし、GPS アンテナを電波の受信しやすいところ（車の屋根や屋上など）に設置します。
インストール終了時に「直ちにプログラムを開始する」をチェックした場合は、次ページの **2** から始めてください。

1 PCGPS ユーティリティを起動します。

『ｽﾀｰﾄ』→『ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ』→『PCGPS ユーティリティ』→「PCGPS ユーティリティ」をクリックします。

2 GPS アンテナが正しく電波を受信できれば、現在位置や衛星の状況が表示されます。



注意！

1. **測位の途中で、測定不可能な状態になった場合、画面には最後の測位情報が表示されたままになります。**
2. **数分待っても上の画面が表示されない場合は、53 ページ「現在位置が表示されないときは」をご参照ください。**
3. **高度計の値は参考値です。**

PCGPS の動作を一時的に停止させる

PCGPS の動作を一時的に停止させたり、再度動作させるようにすることができます。また、PCGPS ユーティリティを起動した際に、自動的に動作させるようにすることもできます。例えば、地図ソフトと本ユーティリティを同時に起動させておきたい場合には、本ユーティリティで GPS 機能を停止させておけば、本ユーティリティを起動したまま、地図ソフト側では GPS 機能を利用することができます。

●PCGPS の動作を停止させる

「ファイル」→「PCGPS 停止」をクリック。

電波受信レベル表示部に「PCGPS 停止中」と表示されます。

●PCGPS を動作させる

「ファイル」→「PCGPS 動作」をクリック。

●起動と同時に自動的に PCGPS を動作させる

「ファイル」→「自動動作する」をクリック。再度クリックすると設定は解除されます。

「自動動作する」設定になっている場合、チェックマークが付きます。

100Km 以上移動した場合は

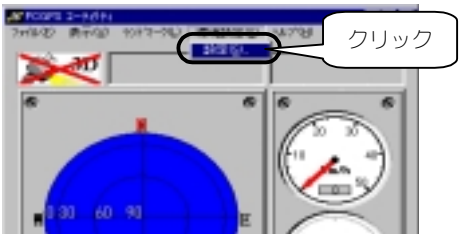
前回ご使用時の測定終了地点より、PCGPS を使用せずに約 100 km以上の距離を移動し、再度 PCGPS を使用する場合は、下記「リセット手順」に従って、(Windows CE の場合は 52 ページ) PCGPS のリセットを行ってください。リセットを行わずに再度 PCGPS を使用すると、本来の現在地より数 100 km以上離れた場所を示す場合があります。(使用しながら移動する場合は問題ありません。)

●リセット手順(Windows 98/95、Windows 2000 の場合)

1 地図ソフト上で GPS 機能を停止します。
停止方法は各地図ソフトの取扱説明書を参照してください。

2 「スタート」→「プログラム」→「PCGPS ユーティリティ」→「PCGPS ユーティリティ」を起動します。

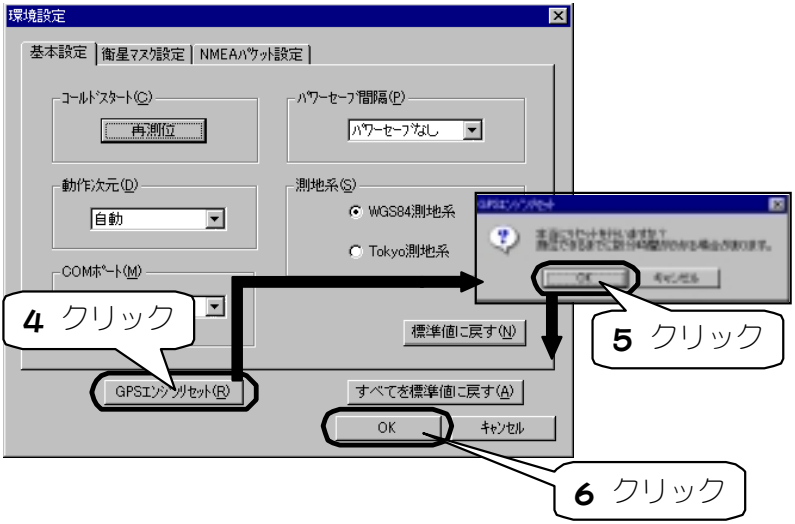
3 「環境設定」→「設定」をクリックします。



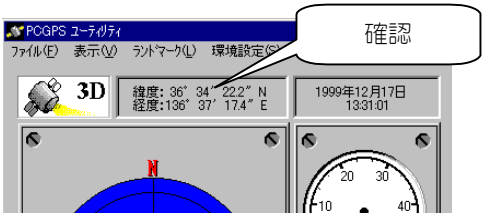
4 「GPS エンジンリセット」をクリックします。

5 「OK」をクリックします。

6 「OK」をクリックします。



7 現在位置が表示されたことをご確認のうえ、「PCGPS ユーティリティ」を終了します。



8 地図ソフト上の GPS 機能にて現在位置をご確認ください。

注意！

この作業中では現在位置、現在時刻、軌道情報を一旦クリアし、はじめから測位をやり直すため、現在位置表示まで数分間時間がかかる場合があります。

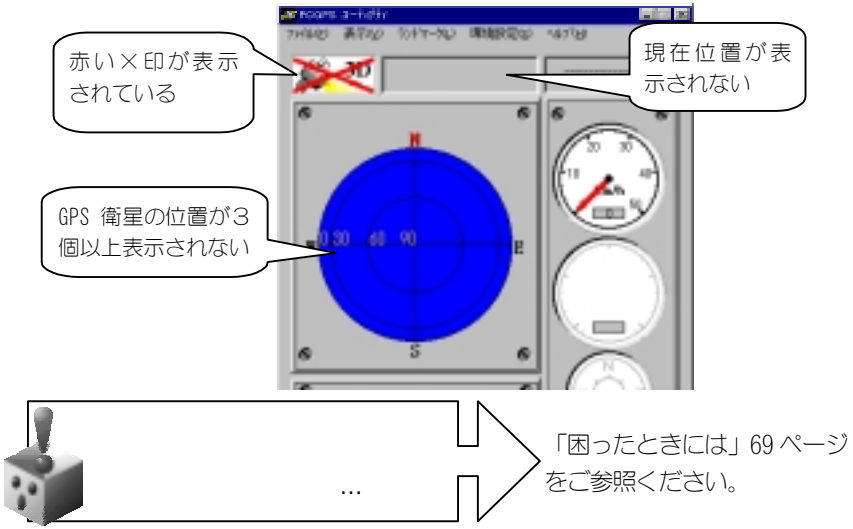
●リセット手順（Windows CE の場合）

「スタート」→「プログラム」→「ResetGPS」をクリックするか、デスクトップ上の、「ResetGPS」というショートカットアイコンをダブルクリックします。
さらに「リセット実行」をクリックすると、PCGPS のリセットを実行します。

設定値を標準値へ戻す	チェックすると、PCGPSユーティリティなどで変更された設定値を全て標準値に設定します。通常はチェックせずにご使用ください。
リセット実行	PCGPSのリセットを実行します。
キャンセル	PCGPSのリセットを中止します。
I-O DATAロゴマーク	バージョン情報が表示されます。

現在位置が表示されないときは

PCGPS ユーティリティを起動してしばらくしても、動作状況表示に赤い×印が表示されたままになっているときは、測定不可の状態です（下図参照）。３個以上の GPS 衛星からの電波が受信できないときは現在位置を表示できません。



状況によっては３D測位（緯度・経度・高度を測定）ができない場合があります。このときは自動的に２D測位（高度なし）になります。

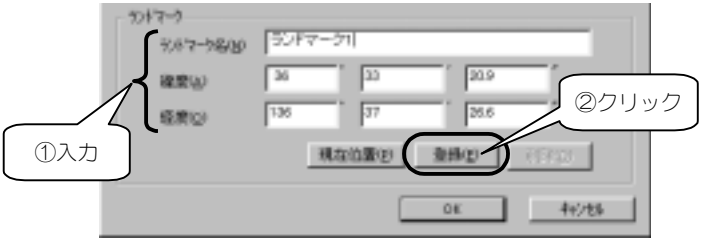
特定の場所への距離や方向を知るには

PCGPS ユーティリティには、ランドマーク機能といって、指定した場所と現在位置との距離や、その場所への方向を示す機能があります。
ここではランドマーク機能の使い方を説明します。この設定は起動するたびに行ってください。

メニューバーの[ランドマーク]→[設定]をクリックします。

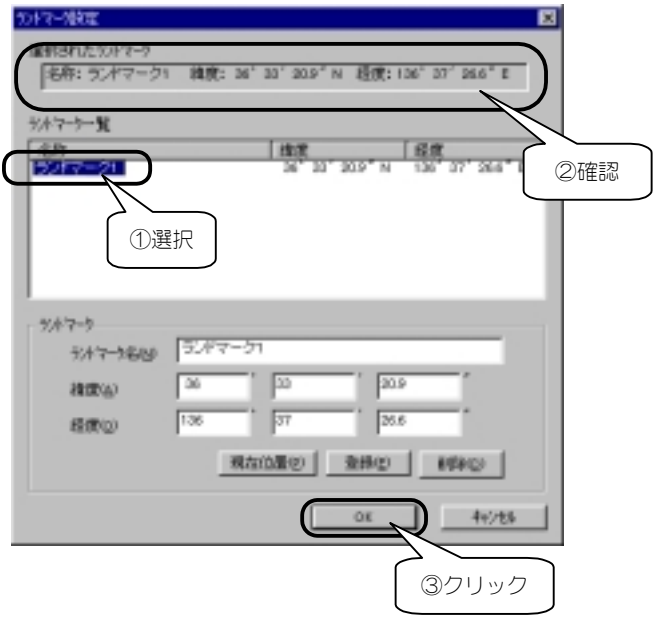
2 ランドマーク名、緯度、経度を入力して、[登録]をクリックします。

今の位置を登録したい場合は[現在位置]をクリックすると、緯度・経度が自動的に設定されます。



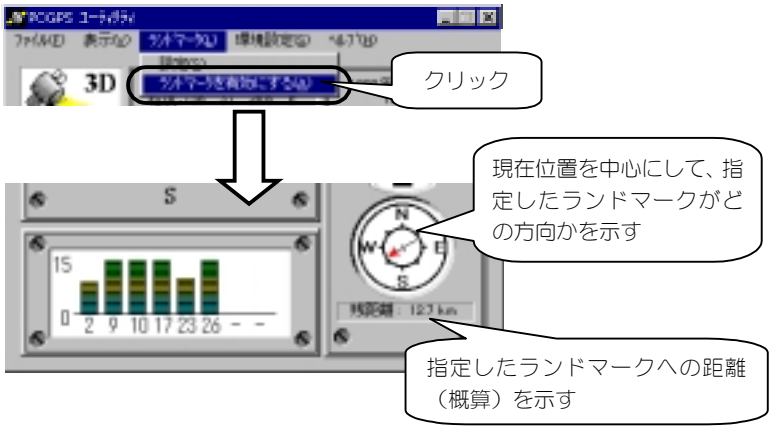
3 登録したランドマーク名が一覧に表示されるので、そのランドマークをクリックし、[OK]をクリックします。

選択されたランドマーク欄に、選択したランドマークが表示されていることを確認してください。



4 [ランドマーク]メニューから[ランドマークを有効にする]をクリックします。

方位計と残距離が表示されます。



PCGPS ユーティリティの詳しい使い方は[ヘルプ]メニューをご参照ください。
PCGPS ユーティリティは PCGPS の信号受信確認としても使用できます。GPS 対応ナビゲーションソフトなどでうまく動作しないときは PCGPS ユーティリティで測位してみてください。

4 付　録

ここでは、以下のことを説明します。必要に応じてお読みください。

P58　困ったときには

うまく取り付けできない、思ったように動作しないときなどにご参照ください。
なお、ここには「ゼンリン電子地図帳Z[zi:]Ⅱ　for PCGPS」の操作上の疑問などは書いてありません。「ゼンリン電子地図帳Z[zi:]Ⅱ　for PCGPS」のオンラインマニュアルをご参照ください。

P71　ハードウェア仕様

本製品の基本仕様を説明してあります。

P72　用語解説

本製品に関する基本的な用語を簡単に説明してあります。

困ったときには

取り付けから動作確認まで

状態	参照頁
PC カードドライバの確認で、「PC カードドライバがインストールされていません」と表示される、または、コントロールパネルの中に「PC カード(PCMCIA)」アイコンが存在しない	60
防磁板が GPS アンテナから外せない	60
PC カードをパソコンに挿入しても、インストール画面が表示されない	60
本書で説明してあるインストール画面と、実際に表示される画面が全く異なる	61
デバイスマネージャ画面で「I-O DATA PCGPS」が表示されない	61
デバイスマネージャ画面で「I-O DATA PCGPS」の先頭に「！」マークが表示されている	62
PC カードを取り外したら、「予期しない PC カードの取り外し」という画面が表示された	64

ゼンリン電子地図帳 Z[zi:]Ⅱ for PCGPS 使用時

状態	参照頁
「電子地図帳 ZⅡの CD-ROM が入っていません」と表示されて、起動できない	65
接続ポートがわからない	65
[GPS]をクリックしてから数分経っても、現在位置が表示されない	65
現在位置が実際の位置とずれている	66
移動しているが、現在位置が動かない、または、消えた	66
オンラインマニュアルを起動すると「ファイルを開くアプリケーションの選択」画面が表示される	67

※本書では GPS 機能のみのトラブルについて説明しています。GPS 機能以外のことについてはゼンリン電子地図帳 Z[zi:]Ⅱ for PCGPS のオンラインマニュアルをご参照ください。

MapFan CE 2000 使用時

状態	参照頁
現在位置が表示されない。	68

PCGPS ユーティリティ使用時

状態	参照頁
「GPS エンジンの起動に失敗しました」と表示される	68
「GPS エンジンの接続に失敗しました」と表示される（Windows 98/95）	68
起動してから数分経っても、現在位置が表示されない	69
メニューやボタンをクリックしても、プルダウンが表示されなかったり、次のダイアログが表示されない	69
表示される GPS 衛星の個数が少ない	69
動作状況表示が２Ｄになっている	70
高度計が表示されない	70
ランドマーク方位計や残距離が表示されない	70
移動しているが、現在位置や移動速度計が変わらない	70

取り付けから動作確認まで

PCカードドライバの確認で、「PCカードドライバがインストールされていません」と表示される、または、コントロールパネルの中に「PCカード(PCMCIA)」アイコンが存在しない

PCカードスロットのないパソコンである。

PCカードスロットのないパソコンでは、本製品は使用できません。

PCカードドライバがインストールされていない。

拡張ボードなどで増設した場合は、ボードの取扱説明書をご参照になり、正しくインストールしてください。
購入時からPCカードスロットが付いていた場合は、購入した販売店へお問い合わせください。

防磁板がGPSアンテナから外せない

GPSアンテナ底面の磁石が強力である。

防磁板をスライドさせるように取り外してください。磁石が強力なため、引っ張って取り外そうとすると相当な力が必要です。

PCカードをパソコンに挿入しても、インストール画面が表示されない

PCカードがしっかりと挿入されていない。

ピポッと音がするまでしっかりと挿入してください。

PCカードの表裏が逆になっている。

PCカードのラベル面を確認してください。通常はラベル面を上にして挿入しますが、パソコンによっては表裏逆にして挿入する場合もあります。ご使用のパソコンの取扱説明書をご参照ください。

すでにインストール済みである。

一度インストールすると、次からはインストール画面は表示されません。25ページ「インストール終了後の確認（Windows 98/95)」(Windows 2000の場合は31ページ「インストール終了後の確認（Windows 2000)」)を行って、「I-O DATA PCGPS」が表示されれば、すでにインストール済みです。そのままお使いください。

本書で説明してあるインストール画面と、実際に表示される画面が全く異なる

参照するページが違っている。

インストール画面の内容や手順は、ご使用の環境によって異なります。本書ではご使用の環境ごとにインストールの説明を分けてあります。ご使用の環境に合ったページをご参照ください。
Windows 98 をご使用の場合：17 ページ「Windows 98 へインストールする」
Windows 95 をご使用の場合：21 ページ「Windows 95 へインストールする」
Windows 2000 をご使用の場合：27 ページ「Windows 2000 へインストールする」

デバイスマネージャ画面で「I-O DATA PCGPS」が表示されない

PC カードがしっかりと挿入されていない。

ピポッと音がするまでしっかりと挿入してください。

PC カードの表裏が逆になっている。

PC カードのラベル面を確認してください。通常はラベル面を上にして挿入しますが、パソコンによっては表裏逆にして挿入する場合もあります。ご使用のパソコンの取扱説明書をご参照ください。

デバイスマネージャ画面で「I-O DATA PCGPS」の先頭に「！」マークが表示されている

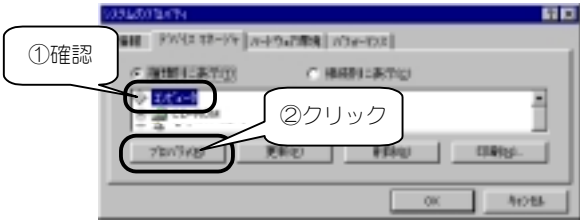
リソースが競合している。

下記の手順を実行し、リソースを確認します。

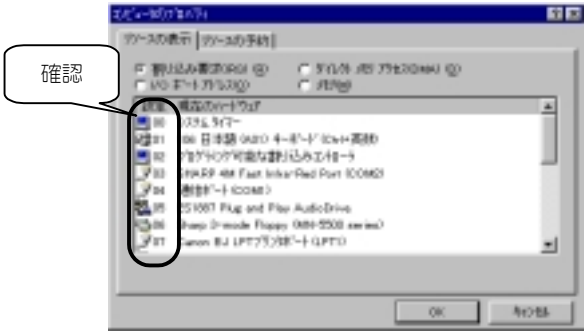
●Windows 98/95 の場合

1 『ﾏｲｺﾝﾋﾟｭｰﾀ』を右クリックして、[ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]をクリックします。
[ﾃﾞﾊﾞｲｽﾏﾈｰｼﾞｬ]タブをクリックします。

2 [ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ]が選択された状態で、[ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]ボタンを押します。



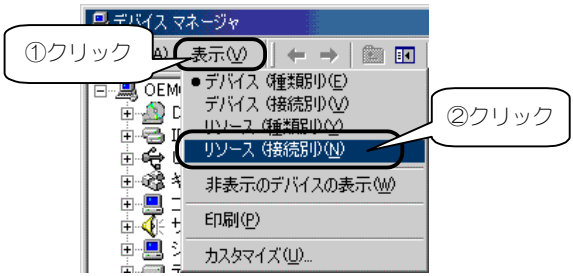
3 IRQ（割り込み要求）の一覧が表示されるので、飛んでいる番号（空き）があるかどうかを確認します（下記は空きのない例）。



●Windows 2000 の場合

1 『ﾏｲｺﾝﾋﾟｭｰﾀ』を右クリックして、[ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]をクリックします。
[ﾊｰﾄﾞｳｴｱ]タブをクリックします。

2 [ﾃﾞﾊﾞｲｽﾏﾈｰｼﾞｬ]ボタンをクリックします。「表示」→「リソース（接続別）」をクリックします。



3 「割り込み要求（IRQ）」をダブルクリックし、「割り込み要求（IRQ）」の一覧が表示されるので、飛んでいる番号（空き）があるかどうかを確認します。

・IRQ の空きがない場合
使用していない何らかの機能を無効にし、空きのある状態にします。
PC カードを抜き、もう一度差し込んでください。
（無効にできる機能に関してはパソコンの取扱説明書やパソコンメーカーでご確認ください。）

・IRQ の空きがある場合
実際は内部で使用されている場合があります。他の割り込みを使用する PC カードをお使いの場合は、その PC カードが使用可能かどうか、確認してみてください。

PC カードを取り外したら、「予期しない PC カードの取り外し」という画面が表示された

	決められた手順で PC カードを終了させる前に、PC カードを取り外した。
	PC カードは決められた手順にしたがって、取り外してください。取り外し方は34 ページ「パソコン起動中に取り外すには（Windows 98/95）」（Windows 2000 の場合は、36 ページ「パソコン起動中に取り外すには（Windows 2000）」）をご参照ください。 正しい手順で取り外さないと予期しない障害が発生する可能性があります。

ゼンリン電子地図帳 Z[zi:]Ⅱ for PCGPS 使用時

「電子地図帳 ZⅡ の CD-ROM が入っていません」と表示されて、起動できない

ゼンリン電子地図帳 Z[zi:]Ⅱ for PCGPS の CD-ROM をセットしていない。

インストール後も、ゼンリン電子地図帳 Z[zi:]Ⅱ for PCGPS を起動するには CD-ROM が必要です。CD-ROM ディスクを CD-ROM ドライブにセットしてください。または、データインストールユーティリティで地図データをインストールしてください。（方法については操作マニュアル（PDF）をご覧ください。）

接続ポートがわからない

ー

画面右下のタスクバーにある[PC カード]アイコンをクリックすると、[I-O DATA PCGPS(COM＊)の中止]と表示されます。この中の COM＊に当たる番号が接続ポートです（＊の番号はご使用の環境によって異なります）。

[GPS]をクリックしてから数分経っても、現在位置が表示されない

PC カードがしっかりと挿入されていない。

画面右下のタスクバーに[PC カード]アイコンが表示されていることを確認してください。表示されていない場合はいったんカードを抜き、もう一度、きちんと差し込んでください。
[PC カード]アイコンをダブルクリックして、[I-O DATA PCGPS(COM＊)]と表示されることを確認してください。表示されない場合はいったんカードを抜き、もう一度、きちんと差し込んでください。

接続ポートの指定が正しくない。

44 ページの操作 5 および 6 を参照して、接続ポートを設定してください。

GPS アンテナの位置が測定不可能な位置である。

13 ページ「GPS アンテナを取り付ける」を参照し、GPS アンテナの位置を確認してください。車内に取り付けた場合は車外に取り付けてみてください。
GPS 衛星からの電波を遮るような高い建物や樹木の陰では受信できない場合がありますので、車を移動させるなどして別の場所で確認してください。
なお、[GPS]ボタンを押して最初の測定は時間がかかります。数分の範囲内であれば問題ありません。

PCGPS ユーティリティなど PCGPS を使用する他のアプリケーションがすでに起動している。

PCGPS を使用するアプリケーションを複数同時に起動した場合、正常に動作しません。ZⅡ使用時は事前に他のアプリケーションを終了してください。

現在位置が実際の位置とずれている

GPS 衛星からの測定誤差が大きい。

GPS 衛星からの電波は最悪の場合で数百メートルの誤差があります。故障ではありません。9 ページ「GPS 衛星による測定誤差について」をご参照ください。また、念のため 50 ページ「リセット手順（Windows 98/95、Windows 2000 の場合）」（Windows CE の場合は 52 ページ「リセット手順（Windows CE の場合）」）の作業もお試しください。

前回ご使用時の測定終了地点より、PCGPS を使用せずに約 100Km 以上の距離を移動した後、リセットを行わなかった。

50 ページ【100Km 以上移動した場合は】をご参照ください。

移動しているが、現在位置が動かない、または、消えた

更新間隔が長すぎる。

[設定]アイコン（44 ページ参照）をクリックすると、更新間隔が指定できます。高速移動中で更新間隔が長いと現在位置がなかなか更新されず、動かないように感じられます。必要に応じて更新間隔を設定してください。

GPS 衛星からの電波が受信できない場所へ移動した。

受信できない場所に移動すると、現在位置マークが消えます。受信できる場所に移動するとまた表示されるようになります。

オンラインマニュアルを起動すると「ファイルを開くアプリケーションの選択」画面が表示される

	オンラインマニュアルを読むためのソフトウェアがインストールされていない。
	ゼンリン電子地図帳 Z[zi:]Ⅱ for PCGPS のセットアップガイドを参照してください。

MapFan CE 2000 使用時

現在位置が表示されない。

COM ポートの設定に問題がある。

MapFan CE 2000 用プラグインの[設定]→[デバイス]で、COM ポート設定を COM2 以上にしてください。

PCGPS ユーティリティ使用時

「GPS エンジンの起動に失敗しました」と表示される

PC カードがしっかりと挿入されていない。

画面右下のタスクバーに[PC カード]アイコンが表示されていることを確認してください。表示されていない場合はいったんカードを抜き、もう一度、きちんと差し込んでください。
[PC カード]アイコンをダブルクリックして、[I-O DATA PCGPS(COM＊)]と表示されることを確認してください。表示されない場合はいったんカードを抜き、もう一度、きちんと差し込んでください。
確認後、PCGPS ユーティリティを再起動してください。

すでに PCGPS を使用するアプリケーションが起動している。

他のアプリケーションを使用している場合は終了してください。

「GPS エンジンの接続に失敗しました」と表示される（Windows 98/95）

PCGPS のリソース設定に問題がある。

次の手順でリソースを変更してみてください。

1. 『ﾏｲｺﾝﾋﾟｭｰﾀ』を右クリックして、[ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]をクリックし、[ﾃﾞﾊﾞｲｽﾏﾈｰｼﾞｬ]タブを開きます。
2. 「ポート（COM/LPT）」をダブルクリックして、[PCGPS]をクリック後、[ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]をクリックします。

3 [ﾘｿｰｽ]タブを開き、自動設定のチェックを外します。

4 「基本設定・・・」を他のものに変更します。
（一度本手順を行っても改善されないようであれば、再度、本手順を行い、その際ここでは他の「基本設定・・・」を選択してください。）

5 [OK]をクリックし、[ﾃﾞﾊﾞｲｽﾏﾈｰｼﾞｬ]を終了し、Windows を再起動します。

6 PCGPS ユーティリティを起動し、接続の確認を行います。

起動してから数分経っても、現在位置が表示されない

GPS アンテナの位置が測定不可能な位置である。

13 ページ「GPS アンテナを取り付ける」を参照し、GPS アンテナの位置を確認してください。車内に取り付けた場合は車外に取り付けてみてください。
GPS 衛星からの電波を遮るような高い建物や樹木の陰では受信できない場合がありますので、車を移動させるなどして別の場所で確認してください。
なお、最初の測定は時間がかかります。数分の範囲内であれば問題ありません。
また、[環境設定]メニューの［GPS エンジンリセット]をクリックしてください。

メニューやボタンをクリックしても、プルダウンが表示されなかったり、次のダイアログが表示されない

リアルタイム受信に時間がかかっている。

PCGPS ユーティリティは GPS 電波をリアルタイムで受信しているため、ご使用のパソコンによっては受信中にメニューやボタンを押しても反応が遅れる場合があります。しばらくお待ちください。
特に[環境設定]メニューの[再測位]ボタンや[GPS エンジンリセット]をクリックした後は処理に時間がかかりますので、数分以上はそのままの状態で（他のボタンなどはクリックせずに）お待ちください。

表示される GPS 衛星の個数が少ない

ー

アンテナ設置場所により受信できる衛星の個数は異なります。現在位置が表示されていれば特に問題はありません。

動作状況表示が２Ｄになっている

３Ｄ測位ができない。

アンテナ設置場所により、３Ｄ測位（緯度、経度、高度）ができない場合があります。その場合は自動的に２Ｄ表示に切り替わります（高度なし）。
なお、[環境設定]メニューの[設定]で、動作次元を「２Ｄ」とした場合は、３Ｄ測位ができる場所でも２Ｄ表示になります。初期値は「自動」です。

高度計が表示されない

３Ｄ測位ができない。

アンテナ設置場所により、３Ｄ測位（緯度、経度、高度）ができない場合があります。その場合は２Ｄ測位となり、高度計に高度は表示されません。
なお、[環境設定]メニューの[設定]で、動作次元を「２Ｄ」とした場合は、３Ｄ測位ができる場所でも２Ｄ測位となり、高度計は表示されません。
また、高度計の値はあくまで参考値です。ご了承ください。

ランドマーク方位計や残距離が表示されない

ランドマークの指定がされていない。

ランドマーク方位計や残距離は、ランドマークの位置を登録し、そのランドマークを有効に指定しておかないと表示されません。
ランドマーク機能の使い方は53 ページ「特定の場所への距離や方向を知るには」をご参照ください。

移動しているが、現在位置や移動速度計が変わらない

GPS からの電波の受信できない場所へ移動した。

受信できない場所に移動すると、最後に測定した現在位置の情報などがそのまま表示されたままになります。受信できる場所に移動するとまた表示されます。

ハードウェア仕様

型式番号	PCGPS
インターフェース	PC カード規格準拠
受信周波数	1575.42MHz（C/A コード）
受信方式	マルチチャンネル（８チャンネル） ８コリレータ、連続捕捉
受信精度	-130dBm 以下
測位更新時間	1 Hz（可変）
測位精度	25mCEP（50%）（SA OFF）
速度精度	0.1m/秒（SA OFF）
使用温度範囲	+0℃～+40℃
使用湿度範囲	10%～80%（結露なきこと）
電源電圧	DC 5.0V ± 5%
消費電力	80mA（最大値 140mA）
アンテナケーブル長	3m

用語解説

GPS（ジーピーエス）（*Grobal Positioning System*）

24 個の衛星と地上の制御局を利用して利用者の現在位置を測定するシステム。４つ以上の衛星からの電波到着時間の差によって、現在位置を測定する。メートル単位の測定が可能。
本来は軍事用に開発されたシステムであるが（GPS 衛星は米国国防省が管理）、最近では地学の研究やカーナビゲーションシステムなどに用いられるようになった。

PC カード（ピーシーカード）

主にノートパソコンで使用される機器拡張用の周辺機器。米国の PCMCIA という団体と、JEIDA（日本電子工業振興会）が共同で規格化を行っている。Type Ⅰから TypeⅢまであり、数字が大きいほど、カードとスロット（差しこみ口）が厚くなる。本製品は TypeⅡ対応なので、TYPE Ⅰのみ対応のスロットには挿入できない（TypeⅡ、Ⅲなら OK）。

COM ポート（コムポート）

パソコンと周辺機器をつなぐシリアルインターフェース。主にモデムや赤外線通信機器などの通信系機器を接続する。COM ポートはシステム側で自動的に番号が割り当てられてられる（COM1、COM2 など）。この番号を COM 番号（または COM ポート番号）と呼ぶ。COM ポートに割り当てられた機器をアプリケーションで使用するときは、この COM 番号を指定する必要がある。

サポートセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及び FAX 番号
2. ご使用の弊社製品名と、サポートソフトウェアディスクのシリアル No.
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用の OS とアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

■オンライン

インターネット　**http://www.iodata.co.jp/support/**
「サポートセンターお問い合わせ」内のフォームを
使用して、E_Mail をお送りください。
@nifty　**アイ・オー・データステーション(SIODATA)　サポート会議室**

■郵便

〒920-8513　石川県金沢市桜田町 2 丁目 84 番地　アイ・オー・データ第 2 ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「PCGPS」係　宛

■電話

電話番号　**本社**　**076-260-3366**
東京　**03-3254-0301**
受付時間　**9:30～19:00　月～金曜日(祝祭日を除く)**

■FAX

FAX 番号　**本社**　**076-260-3360**
東京　**03-3254-9055**
宛先　**株式会社アイ・オー・データ機器**
サポートセンター「PCGPS」係　宛

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。
予めご了承ください。

保証について

■保証期間

・保証期間は、お買い上げの日より１年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有償修理となります。お送りいただいた製品を検査後、有償となる場合のみ往復ハガキにて修理金額をご案内致しますので、修理するか否かをご検討の上、往復ハガキにご記入いただきご返送ください。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。

・弊社が販売終了を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

■保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

・本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。

・本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。

・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。なお、当サービスはユーザー登録された方のみが対象です。

●オンライン

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ　http://www.iodata.co.jp/　→　「サポート・ライブラリ」
@nifty　　ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ（SIODATA）のﾗｲﾌﾞﾗﾘ 6（LIB6）

●サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

住所　　〒920-8513　石川県金沢市桜田町 2 丁目 84 番地
アイ・オー・データ第 2 ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「PCGPS」　サービス窓口　宛
電話番号　　076-260-3663
受付時間　　9:30～12:00　　13:00～17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

ご注意

●オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
●添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。

修理について

弊社製品の修理につきましては、以下の事項をご確認の上、販売店へご依頼いただくか、または下記修理品送付先までお送り下さい。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
  また、修理品のデータに関しましては保証いたしかねます。
- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『サポートセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。
- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇電源 ON で挿入、抜去、逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、
  落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合
- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。

■修理品送付先

住所　〒920-8513
石川県金沢市桜田町 2 丁目 84 番地　アイ･オー･データ第2ビル
株式会社アイ･オー･データ機器
「PCGPS」修理係　宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱･梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、**宅配便**または**書留郵便小包**でのご送付をお願いいたします。

■修理品納期問い合わせについて

受付窓口　「PCGPS」 サービス窓口
電話番号　金沢　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、こちらまでお問い合わせください。